

最小発育阻止濃度測定試験

1. 目的

検体の試験菌に対する最小発育阻止濃度（MIC）を調べる。

2. 検体

MRA500-20 1 点

3. 試験菌

Malassezia furfur NBRC 0656

4. 試験方法

液体培地希釈法を用いて、最小発育阻止濃度（MIC）を調べた。

4-1) 試験試料の調製

YM Liquid 培地（NBRC Medium No. 703）を用いて検体を希釈し、検体濃度が0.1%（1000ppm）となるよう調製した。これらを、YM Liquid 培地により2倍希釈を9段階行い、1000～2ppmとなるよう調製したものを試験試料とした。

4-2) 試験菌液調製

試験菌をオリーブオイル添加サブローデキストロース寒天培地 (SDA) に接種し、28℃、48 時間培養後、生理食塩水を用いて、菌数が 10^7 CFU/mL になるように調製したものを試験菌液とした。

4-3) 試験菌液の接種および培養

試験試料を 96 ウェルプレートにそれぞれ 0.2mL ずつ分注し、試験菌液を 5 μ L ずつ接種した。その後、オリーブオイルを 0.02mL 重層させ、28℃ で培養した。

4-4) MIC の判定

培養 48 時間後、試験菌の発育有無を肉眼で観察し、MIC を判定した。

5. 試験結果

検体の試験菌に対する最小発育阻止濃度 (MIC) を調べた結果を表 1 に示した。

表 1. 検体の *Malassezia furfur* に対する MIC 測定試験成績 (n=3)

検体名	検体濃度(ppm)										MIC (ppm)
	1000	500	250	125	63	31	16	8	4	2	
MRA500-20	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	500
	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	500
	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	125

＋：発育を認める、－：発育を認めない。

以 上